

事務事業名	市子ども会育成会連絡協議会活動支援事業				担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～）		
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	1社会教育総務費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市内子ども会育成会相互の連絡研修及び、子ども会運営上の諸問題について調査研究し子どもの健全育成を図ることを目的に設立された。真岡・山前・大内・中村・二宮の各育成会連絡協議会で組織され市内132単位子ども会育成会と連携し、学校や地域との協力体制の充実に努める。主な事業として、統一日に一斉に開催する統一子ども会総会、産業祭時に合わせて行われる子どもまつり、親子ふれあい映画会等を開催している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 事務局としての会計、補助金交付、定期総会や役員会議の資料作成、統一子ども会総会や子どもまつり、親子ふれあい映画会等の各事業の周知、準備など。 25年度計画 24年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	補助金額	千円	610	577	577	577	577	
	イ	会議開催数	回	4	4	4	5	5	
	ウ	事業数	回	1	2	2	2	2	
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市子ども会育成会連絡協議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	市内の子ども会育成会数	回	134	134	134	132	132	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 各育成会との連携を密にし、相互協力により育成会事業の充実を図り、子ども達の健全育成に寄与する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	活動に参加している子ども	人	0	907	775	646	1000	
	イ	活動にかかわっている大人	人	0	389	332	280	350	
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 子ども会育成会の事業を活発に、地域の中で子ども達を指導、教育することにより、「生きる力」や「思いやりの心」を持った子どもを育む。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	青少年の地域活動に参加している市民の割合	%	9.6	12.0	8.3	7.2	10.0	
	イ	青少年の地域活動に参加したい市民の割合	%	4.8	4.0	5.0	5.4	9.0	
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	610	577	577	577	0
	事業費計(A)		千円	610	577	577	577	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	117	117	117	117	0
			人件費計(B)	千円	475	499	496	492	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,085	1,076	1,073	1,069	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	各単位子ども会および各地区連絡協議会と連携し、相互協力を図り、真岡の未来を担う子ども達の健全育成を目指す。（昭和47年発足） 21年度は二宮町との合併により、二宮地区55単位子ども会が編入した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	少子化に伴う会員・役員数の減少により十分な活動ができない地域がある。全地区で事業への参加者が減少している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	子ども会育成会から、子ども会育成会連絡協議会に対する活動費の補助や子どもまつりでの活動場所の提供など、支援が感謝されている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子ども会の育成は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子どもたちの健全育成は市の重要な責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内の子ども会育成会対象であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 各単位子ども会育成会の連絡協議や指導者研修、また「子どもまつり」や「親子ふれあい映画会」等を行い、子どもの健全育成を図っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域での子ども会の活動ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 育成会の自己負担だけでは会の運営が困難である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会の活動支援のための最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市の補助金と各地区連絡協議会からの負担で運営されており、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							